

## 後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 02 ICT関連企業集積と産学官連携の推進

主管課長職・氏名	企業振興課長 佐々木敬志
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

雇用が生まれ、市民が生活に不安なく暮らせることは、幸福感を育む環境づくりには欠かせないものであり、そのためにも既存企業の発展又は企業誘致に伴う企業の集積による雇用の創出は不可欠です。大学が立地する環境を活かし、滝沢発の価値が生まれる取組に産学官を挙げて挑戦する状態を目指します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 法人事業所数 単位 所以上	949	956	956	956	956	956	A
			967	989	-	-	-	571.4
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	34.6	39	43	46	50	50	C
			36.6	36.3	-	-	-	11.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 03020100 企業の誘致と支援 IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数 単位 件	25	21	24	26	29	29	D
			24	24	-	-	-	△25.0
2	暮らし 03020200 ICT/IoT利活用と人材育成の推進 セミナー、フォーラム等の交流事業の回数 単位 回	121	88	100	112	124	124	A
			147	175	-	-	-	1,800.0
	単位							
	単位							
	単位							

## 後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 02 ICT関連企業集積と産学官連携の推進

主管課長職・氏名	企業振興課長 佐々木敬志
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<p>基本施策実現に向け、ICT関連産業の集積及び産学官連携に基づく市内企業の生産性向上に資する商工業への支援の効果が次のとおり認められました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝沢市IPUイノベーションパークにおいて、施設拡張を含めた2区画を譲渡しました。</li> <li>・学生アイデア創出イベント「滝沢イノベーションチャレンジ」を実施し、学生と企業との連携機会を創出し、人材育成及び地元愛着へつなげる取り組みを実施しました。</li> <li>・市内商工業の振興のため、行政、事業者、産業経済団体、金融機関、教育機関等及び市民が一体となって支えることをルール化した「滝沢市産業振興条例」を制定しました。</li> </ul>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内商工業者の振興に関する仕組みの検討と地域ICTクラブの創設。</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内商工業の振興に関する仕組みをルール化した「滝沢市産業振興条例」を制定しました。</li> <li>・滝沢市独自での地域ICTクラブ創設の検討を開始するとともに、次世代を担う若者をターゲットにした人材育成事業を実施しました。</li> </ul>	

## 3. 基本施策の実現に向けての令和 2年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>令和2年4月の緊急事態宣言発出により、テレワークやオンライン会議などが急激に普及しました。ICT技術を活用した働き方改革は、IT分野に限らず、すべての業種の「新しい生活様式」として浸透し、今後もAIやRPAなどの新技術の有効活用が進むものと思われます。</p>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>基本施策である「ICT関連産業の集積と産学官連携の推進」は、政策である「地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち」に直結するものであり、ICT技術による生産性の向上と、産学官連携による新たなビジネスチャンスの獲得は、今後も本市の産業政策の柱になると考えられます。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IPUイノベーションパークは整備から10年が経過し、企業の立地も順調に進んでいます。今後もさらにICT関連産業を集積するため、岩手県立大学との連携を強化する必要があります。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対し、経済循環等による景気回復対策を検討する必要があります。</li> </ul> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IPUイノベーションパークにICT関連産業を集積するためには、不足しているICT技術者の確保が不可欠であり、人材育成の取り組みを実施するとともに、学生と企業が交流する場を創出します。</li> <li>・滝沢市産業振興条例の趣旨に基づき、地域が一体となり事業者を支援していくための取り組みが必要です。</li> </ul>	

